

令和8年度富山県立学校における新入生の学習者用端末販売に係る業務協定 技術点審査基準

| | | |
|----|-----------------|------|
| 評価 | (評価基準) | 係数 |
| A | (非常に優れている) | 1 |
| B | (優れている) | 0.75 |
| C | (やや優れている) | 0.5 |
| D | (普通・仕様書同等) | 0.25 |
| E | (評価に値しない・記載がない) | 0 |

| 大項目 | 小項目 | No. | 提案書の記載事項 | 評価基準 | 配点 |
|------|--------|-----|---|--|-----|
| 販売業務 | 業務理解 | 1 | 本業務の実施方針を記載すること。 | 本業務の趣旨を理解した方針となっているか。 提案内容は、方針を踏まえた提案となっているか。 | 20 |
| | 実績 | 2 | 端末の調達に関して、令和4年度以降の類似した実績（1,000台以上）を1件以上記載すること。 業務の概要、販売台数、販売期間、協定（契約）相手、協定（契約）金額、配送方式（一括、個別）業務のセールスポイントを示すこと。 | 本業務を円滑に実施することができる実績があるか。 | 60 |
| | 体制 | 3 | 全体の体制、統括責任者、各担当者の役割を具体的に記載すること（生徒・保護者や各学校、県教育委員会との連絡体制を含む）。 | それぞれの責任範囲が明確で、期限までに本業務を確実に実施することができる体制となっているか。 | 60 |
| | 購入プロセス | 4 | 注文から支払い、納品までのプロセスを次の内容を含め、具体的に記載すること。 ・生徒・保護者の購入に関する問合せ対応 ・追加注文やキャンセル対応の可否。可能な場合は条件等。4月10日以降、追加注文可能な場合は、注文から納品までの期間を記載すること。 | プロセスは、生徒・保護者にとって簡便か。 生徒・保護者の個々事情にどのように対応できるか。 | 40 |
| | ECサイト | 5 | 次の内容を含めて具体的に記載すること。 ・生徒・保護者の注文方法 ・注文する際の入力・選択誤り（誤って他の学校を選択してしまうなど）を防ぐ方法 ・生徒・保護者が注文履歴・支払い状況・納品予定を確認する方法 ・各学校、県教委が購入状況を把握する方法 | 生徒・保護者にとって、ECサイトの構成は分かりやすく、注文時の誤りを防ぐ方法は効果的か。 各学校、県教委が購入状況をECサイトで把握することが可能か。 | 60 |
| | 支払い | 6 | 可能な支払い方法を記載すること。 例：クレジットカード、コンビニ支払い、銀行振込み等 | 支払方法は、生徒・保護者の事情に対応しているか。 （クレジットカード又はコンビニ払いが不可：E、クレジットカード及びコンビニ払いのみ：D、クレジットカード及びコンビニ払いと他の方法：A） | 40 |
| | 配送計画 | 7 | 端末の配送計画をスケジュールを含め具体的に記載すること。 納入期限（5月20日）より前に納品できる場合は、記載すること。 次の内容を記載すること。 ・サプライチェーンリスク対策 ・梱包・発送ミス対策（ダブルチェック等） ・端末紛失対策 | 配送計画は具体的で、確実に実施できるものとなっているか。 できるだけ早く納品が可能か。 各対策が効果的に施されているか。 | 60 |
| | 修理 | 8 | 保守の対象範囲、端末修理の受付から故障端末回収、修理完了端末の送付までの手順について、それぞれにかかる必要な日数とともに具体的に記載すること。 盗難・紛失の際の保守の適用条件や免責等を記載すること。 Webでの修理等の申込みから、一次回答までに要する時間を記載すること。 | 保守の対象範囲は、生徒が安心して利活用をするために十分なものか。 端末修理の手順は、分かりやすく生徒・保護者の負担が小さいものになっているか。 端末の修理期間が長くなっていないか。 | 40 |
| | 提案 | 9 | 有益な提案があれば記載すること。 | 提案は具体的で、生徒・保護者や学校等にとって有益なものか (例) ・オプション品（タッチペン等）の無償提供 ・問い合わせ方法の複数チャネル提供 | 20 |
| | 販売業務 | | | | 400 |

| 大項目 | 小項目 | No. | 提案書の記載事項 | 評価基準 | 配点 |
|------------|-------------------|-----|--|--|-----|
| Chromebook | CPU | 10 | 搭載するCPUのメーカー、型番を記載すること。 仕様書を上回るCPUの場合は、提案書で複数のベンチマークスコアにより示すこと。 | 生徒が円滑に利活用するために十分なスペックを有しているか。 今後、利活用の方法が広がった際に対応できるスペックを有しているか。 (仕様書N100同等：D、N150同等：B、N150を上回る：A) | 60 |
| | メモリ | 11 | メインメモリ容量を記載すること。 | 生徒が円滑に利活用するために十分なスペックを有しているか。 今後、利活用の方法が広がった際に対応できるスペックを有しているか。 (仕様書同等4GB：D、8GB以上：A) | 40 |
| | ストレージ | 12 | 内臓ストレージ容量を記載すること。 | 生徒が円滑に利活用するために十分なスペックを有しているか。 (仕様書同等64GB：D、128GB以上：A) | 20 |
| | USB3.0(Type-C) | 13 | USB3.0(Type-C)端子の搭載数を記載すること。 | 拡張性を有しているか。 (仕様書同等1個：D、2個以上：A) | 20 |
| | USB3.0(Type-A) | 14 | USB3.0(Type-A)端子の有無を記載すること。 | 拡張性を有しているか。(無：E、有：A) | 20 |
| | HDMI | 15 | HDMI端子の有無を記載すること。 | 拡張性を有しているか。(無：E、有：A) | 20 |
| | バッテリー | 16 | バッテリーの最大駆動時間を記載すること (Google Chrome OS Power LoadTest)。 | 授業や自主学習で追加充電することなく利活用できる駆動時間を有しているか。 バッテリーの劣化が進んでも利活用への支障が少ない駆動時間を有しているか。 (仕様書は10時間以上、10時間以上12時間未満：D、12時間以上14時間未満：C、14時間以上16時間未満：B、16時間以上：A) | 40 |
| | 質量 | 17 | 端末の質量を記載すること。 | 可搬性を確保するため、質量の抑制に努めているか。 (仕様書は1.5kg以内、1.5kg以内1.4kg以上：D、1.4kg未満1.3kg以上：C、1.3kg未満1.2kg以上：B、1.2kg未満：A) | 40 |
| | 起動時間 | 18 | 起動（ログイン画面表示）に要する時間を記載すること。 | 実際に、すみやかに端末が起動するか。(実機評価も実施。)(各事業者が提案する端末の中で起動時間が短い順にA、B、C、・・・とする。) | 60 |
| | カメラ | 19 | カメラの解像度、鮮明度向上のための技術的な工夫を記載すること（QRコード読み取り精度向上を含む。）。 | カメラの鮮明度や、教科書・参考書等のQRコード読み取り精度は高いか。(実機評価も実施。) | 40 |
| | ディスプレイ | 20 | ディスプレイの画面サイズ、解像度、視認性向上の技術的な工夫を記載すること。 | ディスプレイが見やすいものか。(実機評価も実施。) | 20 |
| | 形状等 | 21 | 筐体の形状及び利活用のための工夫を記載すること。(キーボード、スイッチ、カメラの操作性、配置等。) | 形状が利活用しやすいものとなっているか。(実機評価も実施。) | 20 |
| | 堅牢性 | 22 | 次の内容を記載すること。 ・落下試験結果、防水性能、ディスプレイ破損対策等 | 学校や家庭での利活用・保管、通学に十分な堅牢性を有しているか。(実機を見ての評価も実施。) | 40 |
| | Chromebook 合計点 | | | | 440 |

| 大項目 | 小項目 | No. | 提案書の記載事項 | 評価基準 | 配点 |
|-----------|----------------|-----|--|--|-----|
| Windows端末 | CPU | 23 | 搭載するCPUのメーカー、型番を記載すること。 仕様書を上回るCPUの場合は、提案書で複数のベンチマークスコアにより示すこと。 | 生徒が円滑に利活用するために十分なスペックを有しているか。 今後、利活用の方法が広がった際に対応できるスペックを有しているか。 （仕様書N100同等：D、N150同等：B、N150を上回る：A） | 60 |
| | メモリ | 24 | メインメモリ容量を記載すること。 | 生徒が円滑に利活用するために十分なスペックを有しているか。 今後、利活用の方法が広がった際に対応できるスペックを有しているか。 （仕様書同等8GB：D、16GB以上：A） | 40 |
| | ストレージ | 25 | 内臓ストレージ容量を記載すること。 | 生徒が円滑に利活用するために十分なスペックを有しているか。 （仕様書同等128GB：D、256GB以上：A） | 20 |
| | USB3.0(Type-C) | 26 | USB3.0(Type-C)端子の搭載数を記載すること。 | 拡張性を有しているか。 （仕様書同等1個：D、2個以上：A） | 20 |
| | USB3.0(Type-A) | 27 | USB3.0(Type-A)端子の有無を記載すること。 | 拡張性を有しているか。（無：E、有：A） | 20 |
| | HDMI | 28 | HDMI端子の有無を記載すること。 | 拡張性を有しているか。（無：E、有：A） | 20 |
| | バッテリー | 29 | バッテリーの最大駆動時間を記載すること （JEITA 測定法 3.0の 動画再生時 及び アイドル時を記載すること。）。 | 授業や自主学習で追加充電することなく利活用できる駆動時間を有しているか。 バッテリーの劣化が進んでも利活用への支障が少ない駆動時間を有しているか。 （仕様書は動画再生時5時間以上かつアイドル時9.9時間以上:D、動画再生時6時間以上かつアイドル時12時間以上:C、動画再生時7時間以上かつアイドル時14時間以上:B、動画再生時8時間以上かつアイドル時16時間以上:A） ※ 複数の基準に該当する場合は、最もよい評価とする。 | 40 |
| | 質量 | 30 | 端末の質量を記載すること。 | 可搬性を確保するため、質量の抑制に努めているか。 （仕様書は1.5kg以内、1.5kg以内1.4kg以上：D、1.4kg未満1.3kg以上:C、1.3kg未満1.2kg以上:B、1.2kg未満:A） | 40 |
| | 起動時間 | 31 | 起動（ログイン画面表示）に要する時間を記載すること。 | 実際に、すみやかに端末が起動するか。（実機評価も実施。）（各事業者が提案する端末の中で起動時間が短い順にA、B、C、・・・とする。） | 60 |
| | カメラ | 32 | カメラの解像度、鮮明度向上のための技術的な工夫を記載すること（QRコード読み取り精度向上を含む。）。 | カメラの鮮明度や、教科書・参考書等のQRコード読み取り精度は高いか。（実機評価も実施。） | 40 |
| | ディスプレイ | 33 | ディスプレイの画面サイズ、解像度、視認性向上の技術的な工夫を記載すること。 | ディスプレイが見やすいものか。（実機評価も実施。） | 20 |
| | 形状等 | 34 | 筐体の形状及び利活用のための工夫を記載すること。（キーボード、スイッチ、カメラの操作性、配置等。） | 形状が利活用しやすいものとなっているか。（実機評価も実施。） | 20 |
| | 堅牢性 | 35 | 次の内容を記載すること。 ・落下試験結果、防水性能、ディスプレイ破損対策等 | 学校や家庭での利活用・保管、通学に十分な堅牢性を有しているか。（実機を見ての評価も実施。） | 40 |
| | Windows端末合計点 | | | | 440 |
| | 端末性能 | | | | 880 |